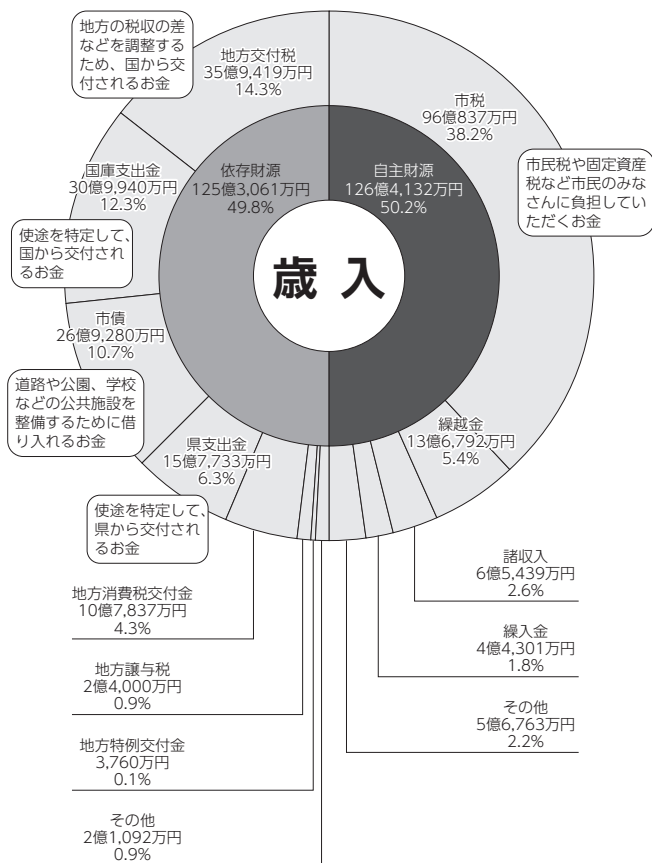


X 財政

1. 平成29年度一般会計決算額

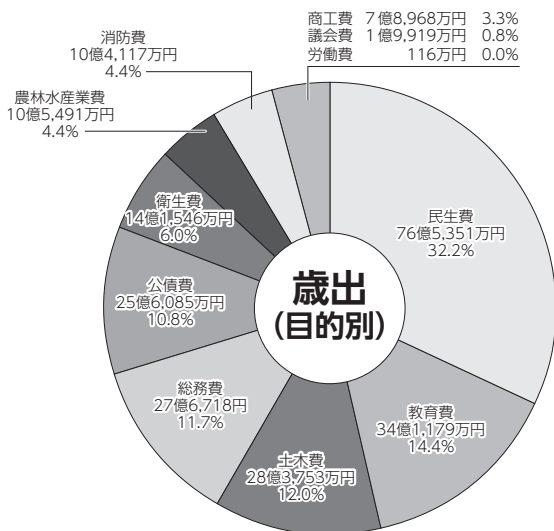
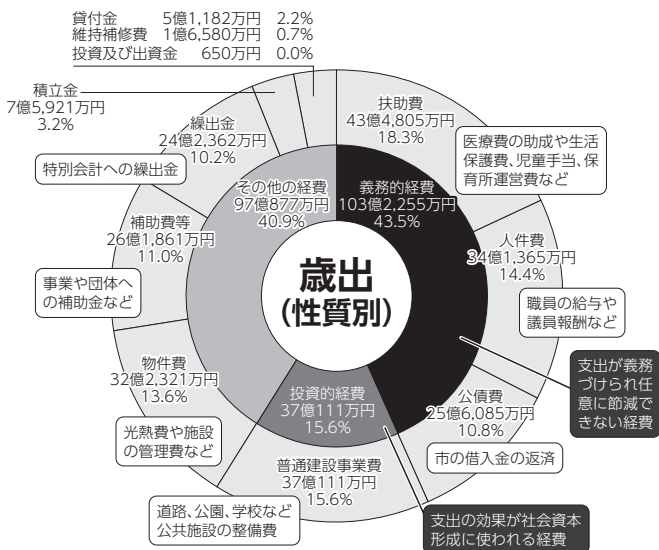
歳入総額 251億7,193万円(前年度比15億322万円、5.6%の減)



「自主財源」は、市が自主的に集めることのできるお金のことです。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。

「依存財源」は、国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

歳出総額 237億3,243万円(前年度比23億2,543万円、8.4%の減)



市税の負担状況

	1人あたり	1世帯あたり
市税全体	159,820円	404,935円
市民税	75,581円	191,499円
固定資産税	67,747円	171,651円
軽自動車税	2,063円	5,226円
たばこ税	6,312円	15,993円
都市計画税	8,117円	20,566円

皆様から納めていただいた税金を税目ごとに住民基本台帳人口、世帯数で割っています。

◆ 住民基本台帳 ◆

(平成30年3月31日現在)

人口 60,084人

世帯数 23,714世帯

下野市の財政を家計簿にたとえると・・・

下野市の決算状況についてより身近に感じてもらうため、平成29年度一般会計決算を年収600万円の家計にたとえ「1年間の家計簿」を作成しました。なお、市と一般家庭では会計方法等が異なるため、単純な比較とはなりませんのでご了承ください。

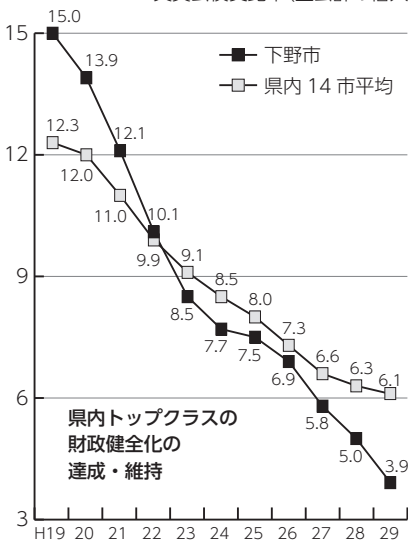
[収入]					
項目	金額	割合	決算上の区分		
①給与収入	基本給	229万円	38%	市税	
	諸手当	123万円	20%	地方交付税 譲与税 など	
②パート収入	29万円	5%	使用料及び手数料 財産収入 諸収入など		
③親からの援助	112万円	19%	国県支出品		
④預金取り崩し	11万円	2%	繰入金		
⑤ローン	64万円	11%	市債		
⑥前年からの繰越金	32万円	5%	繰越金		
収入合計	600万円				

[支出]				
項目	金額	割合	決算上の区分	
①食費	82万円	15%	人件費	
②家族の医療費	103万円	18%	扶助費	
③日用品の購入や光熱水費など	81万円	14%	物件費 維持補修費	
④仕送り	58万円	10%	繰出金	
⑤自治会費や保険料	62万円	11%	補助費	
⑥ローンの返済	61万円	11%	公債費	
⑦株などへの投資	13万円	2%	貸付金	
⑧自家用車の購入や家の増改築など	88万円	16%	普通建設事業費 災害復旧費など	
⑨貯金	18万円	3%	積立金	
支出合計	566万円			

収入の差額34万円は
翌年へ繰越となります。

下野市の財政状況

実質公債費比率(全会計の借入金返済の割合)

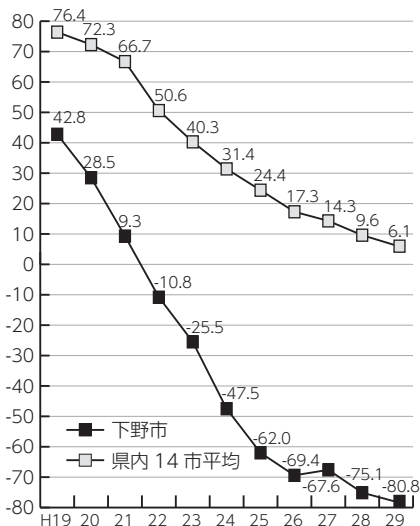


18%以下……望ましい
18%を超えると…注意

地方税などの一般財源に占める公債費（借入れた地方債の返済金）の割合を示すもので、公債費が市の財政を圧迫していないかを見るものです。この数値が18%を超えると借入に県の許可が必要になり、25%を超えると借入を制限されます。

今年度は3.9%で、前年度の5.0%から1.1ポイント好転し、14市平均を下回っています。（4位/県内14市）

将来負担比率(将来負担すべき実質的な負債の比率)



低いほうがよい
350%以上……危険

地方公共団体財政健全化法に基づいて導入された将来負担の大きさを表す指標です。地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。この数値が350%を超えると早期健全化団体となります。

今年度は-80.8%で、前年度の-75.1%から5.7ポイント好転しました。（1位/県内14市）